



1975年熊本大学医学部卒業。熊本大学医学部第二外科(現:消化器外科学)医局長、天草郡市医師会立天草地域医療センター副院長などを経て、2012年から現職。熊本大学医学部医学臨床教授兼任。

### 熊本県地域医療連携ネットワーク構想とは。

教育が主目的の「地域医療実践教育天草拠点」とは異なり、こちらは地域の医療環境の拡充を目指すものです。

熊本県では熊本市と周辺に医師が集中する一方で、地域の医師不足は深刻化しています。大学からいつでも希望する医師を派遣してもらえるとは限りません。

そこで熊本大学では、ネットワーク推進医を任命。その推進医を各医療圏の拠点病院に派遣し、医療圏域内の他の医師や医療機関の相談や指導に対応しています。

例えば、圏域内に麻酔科医が不足していると要望があった場合は、熊本大学から推進医の麻酔科医を拠点病院に派遣し、支援します。

現在、宇城、有明、阿蘇、球磨など10の医療圏内で、15の病院が熊本県地域医療拠点病院として指定され、当院はその一つです。このネットワークによって、圏域内で安定した医療体制の維持や拡充ができることも

に、地域完結型の専門医療の提供体制も構築できます。さらには拠点病院で研修などを行うことで、圏域内の医師のスキルアップも可能です。これらは2019

年4月から本格的にスタートしました。全国から参考にされるモデルになればと、関係者一同、非常に意気込んでいます。

### — 今後は。

1992年、当院が開設されたところからの「救急車で天草の1号橋を渡らせない」という思いは、今も変わらずに持ち続けています。ここは公立病院ではなく、あくまでも医師会立。しかし、公的なミッションを常に持ちながら、医療に当たっています。

最新の医療機器を積極的に導入し、都市部の病院と遜色のない医療サービスを提供することに力を注いできました。医師の育成のために、さまざまな学会の専門医修練の指導施設にもなっています。

人材育成に関しては、医師だけではなく看護師や医療関連技士、理学療法士、作業療法士、医療クラークなどの専門職も育てなければなりません。

住民にとって、また医師などの医療関係者にとって「魅力ある病院づくり」を目指していきます。

熊本県では、熊本大学と連携し、「地域医療実践教育拠点」や「熊本県地域医療連携ネットワーク構想」などの施策を通して、地域医療の活性化を計画している。その両方に携わる天草地域医療センターの原田和則院長に話を聞いた。

### — 地域医療実践教育の天草での拠点となっています。

熊本大学医学部では、松井邦彦特任教授が主宰して「地域医療・総合診療実践学寄附講座」が開講されています。基幹型臨床研修病院など地域の中核病院に熊本大学のドクターを教官とし

て常駐させ、研修医や専攻医の教育をその地で行うことが目的です。

地域医療実践教育拠点病院の第1号は公立玉名中央病院。2拠点目として2019年4月に当院が指定されました。現在、当院に教員が2人常駐し、専攻医1

人、多くの研修医が学んでいます。また何人もの医学生が研修にやってきました。

このような機会に専攻医・研修医や医学生に地域医療の実態を見てもらうことは良い経験になると思います。教員2人は総合診療医です。当院は各診療科の専門医ばかりですので、いわゆ

る「行間の医療」に携わってもらえることで非常に助かっています。地域の開業医からも安心して任せられると好評です。

この「地域医療実践教育天草拠点」は教育の他に、医師不足の解消につながる目的もあります。つまりここで育った医師に他の病院で活躍してもらおう。当院で学んでいる専攻医は、20

20年春、天草の他の医療機関に進み、新たな研修医や専攻医が当院に入って数年間学び、巣立っていく。そんな風に毎年度のつながりを継続し、地域に医師が増えることを期待しています。

## ネットワークの構築で

## 地域医療拡充と人材育成を

一般社団法人 天草郡市医師会立  
天草地域医療センター

はらだ かずのり  
原田 和則 院長



一般社団法人 天草郡市医師会立  
天草地域医療センター  
熊本県天草市亀場町食場854-1  
☎0969-24-4111(代表)  
<http://www.amed.jp/mc/>